

令和6年度 湖東小学校 グランドデザイン

茅野市の教育

21世紀を切り開く 心豊かで、たくましく、やさしい、夢のある 子ども

縄文のビーナスプラン

一人一人の多様性と力を伸ばす事を目的とした教育に転換し、創造します。

【心のよっぱのクローバープラン】

心豊かで…子どもの心情を大切に。議論する道徳
たくましく…自己有用感が高まる発達支持的生徒指導
やさしい…ソーシャルボンドを基礎としたいじめ対策
夢のある…多様性を包み込む学校

生きる力を育む

- 調べ学習コンクール（興味関心からスタート）
- 読書・図書館教育（ことばとこころを育てる）
- キャリアパスポート（小中高をつなげる）
- 校内子どもサポートセンター（多様な学びの場）
- 生き方教育（自分たちが生きていくまち未来を考え）
- 縄文市民科（自立・協働・創造に学ぶ）

北部中学校区教育目標 豊かな自然・文化の中で、たくましく、粘り強く、共に考え、未来（地域）を担うこと

【湖東小の子どもたち】

- ・元気に遊び、心根がやさしい。
- ・見通しがもてる意欲的に取り組む。
- ・言葉かけに素直に反応できる。
- ・主体性や、他を思いやる心を更に育てたい

学校教育目標

考える子
すすんで やり抜く子
思いやる子

【地域の様子】

- ・学校に大変協力的である。
- ・明るく楽しく生活できる安心な学校を願っている。
- ・地域を知り、地域で学び育つことを期待している。

【願う子どもの姿】

考える子

- ・考えることを楽しむ子
- ・対話によって考えを広め、深める子

すすんで やり抜く子

- ・気持ちのよいあいさつかができる子
- ・自分で決め、取り組み続ける子

思いやる子

- ・自分の良さを自覚する子
- ・友達との違いを認め合う子

【指導目標】

明日もまた来たくなる学校

～ふるさとに学び、次世代を担う心豊かでたくましい子どもの育成～

【具体目標】

全校研究テーマ

「～考えることを楽しむ子ども～」

1 授業づくり

- ・「納得する」「学ぶ意味を感じる」「知的好奇心が高まる」「わからなさを表出できる」授業づくり。
- ・ものとの対話、自己内対話、友との対話など、対話を意識した授業
- ・自己調整力の育成（マイプラン学習）

2 活動づくり

- ・地域と繋がり、縄文科・生活科・総合的な学習の時間（含縄文科）を軸にした「核」のある学校生活
- ・「創る」ことを取り入れた学校行事・児童会活動

3 こころづくり

- ・あいさつの価値を感じる活動、児童会との協働で気持ちのよいあいさつを交わす。
- ・良さを見つめ、認め、その子らしさが生きるための支援。
- ・違うことの良さを認め合う学級づくり
- ・豊かな言葉と心を育む読書活動の推進

1 生きて働く「知識・技能」 2 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」

3 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

校内研修

- ・縄文、生活、総合が「探究」になるための外部講師による研修
- ・行動分析や諸検査の研修
- ・読書教育
- ・非適行行為防止研修
- ・職員の専門性に学び合う

地域・家庭との協働

子どものための働き方改革

- ・質の高い授業を実現し「やりかい」に
- ・業務の効率化に向けた意識改革と学校体制
- ・開かれた学級 チーム支援

開かれた学校

- ・学校、学年、学級によりによる発信
- ・学校自己評価、外部評価
- ・地域や保護者の願いの汲み上げ
- ・保護者や地域の方が参加・参画する機会の工夫
- ・誠意ある対話と対応
- ・「ふれあい広場」地域の方の場の設置

湖東小コミュニティスクールの推進

- ・湖東のひと、もの、こと、心に触れる
- ・地域を知り、地域に愛着と誇りをもつ
- ・湖東の自然や伝統を生かした教育活動
- ・地域の方の専門性や経験、力を生かす
- ・学校を地域の方の場に
- ・地域を子どもの学びの場に

地域・諸団体との連携

- ・「育ちあい ちの」との連携
- ・湖東の教育を語る会
- ・学校運営協議会等からの声を生かした目標の設定
- ・日々の安全の確保、非常時や緊急時を想定した連携